

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	東邦音楽大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トウホウオンガクダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	関東地方(東京都を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	東邦音楽短期大学
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	東京都
	大学等名2(連携大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	音楽学部
	担当教職員名・役職	古川潤一キャリア支援センター長
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	11
	受入企業等数	6
	受入企業等名	ヤマハ、川越市役所、ふじみ野市役所、KDDI総合研究所、ディスクユニオン、ヒューマンテック
	インターンシップの分類	9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	各企業、自治体の社員らと協働して事務・販売・接客等の実務を行う。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		総合教育科目として実施している。
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		大学2年次～3年時、短期大学1年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		夏季休暇期間を利用して10日以上インターンシップを、総合教育科目「インターンシップ」として実施している。本科目では、仕事理解を深め、自己の適性等を考え職業選択できることを目的としている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 4.その他
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	就業体験と自らの学びがどのように繋がったのか振り返る目的で、インターンシップ後に学内報告会を実施している。
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	必要に応じて、担当職員が現場訪問により本人及び企業担当者と状況確認をしている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前学習の中で「インターンシップ実施の目的、意識」「インターンシップ参加の心構え」「社会人としてのルール・マナー」「受入先企業についての事前学習」を実施している。

	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学習成果確認や体験の振り返りを目的としたレポート作成や成果報告書の提出を義務付けている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	担当訪問者により、実習取組状況の中間確認及び健康状態の把握を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	担任教員で組織されるキャリア支援委員会において、事前と事後の変化を個別に検討し、評価に反映させている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施機関10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	ヤマハ銀座店ほか、計6カ所の受入先において実質10日間の実習を行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入企業または自治体より評価シートを用いて具体的な評価、フィードバックを行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.toho-music.ac.jp/img/2018/2018_college_syllabus
問い合わせ先	大学等名	東邦音楽大学
	担当部署名	キャリア支援センター
	担当者役職名	キャリア支援センター長
	担当者氏名	古川潤一
	電話番号	049-235-2157
	メールアドレス	shushoku-k@toho-music.ac.jp